

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		・職員が足りないと入居者の方の満足度もかわってくる。	常勤の職員をあと1名確保したい	募集をかけても中々採用につながらない為、今いる職員の人数でどのようにしたら入居者の方が退屈せず毎日を生き生きと過ごしていただけるか業務内容の見直しを図る	3ヶ月
2		・入居者の方の重度化に伴い介助の仕方がまちまちになっており、統一が必要	介助の方法を皆統一して行えるようになる	定期的な定例会の中でもこの課題を積極的に取り込み皆で話し合う。又毎朝のミーティングでも気づいたことがあれば、その都度話し合いをおこなう。	2ヶ月
3		今一度認知症の方を理解する	職員の年数が長くなることはいい事だが、だんだんと我もでてくることもある「気づき、思いやり」の精神を自分自身に問いかけるようにする	定例会、毎朝のミーティングはもちろんのこと、外部への研修を積極的に行ってもらおう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。